



# ひふのたね



## 带状疱疹について（前編）

井上病院 皮膚科 久山 陽子医師

### 带状疱疹とは？

**皮膚と神経に症状が出る病気です。神経痛のような痛みが4～5日続いたあと、赤いぶつぶつや水ぶくれが出ます。**

赤い湿疹はその部位に集まったように出たり、神経に沿ったように帯状に出たりします。痛みだけの時は带状疱疹とは分らず、発疹が出て带状疱疹と分かります。

「腰痛で湿布を貼ったら、その湿布でかぶれた」と思って受診すると実際は带状疱疹で、腰痛も带状疱疹の痛みだったという場合もあります。  
**間違っているかもしれませんが、早めに皮膚科医や内科医に相談しましょう。**

発疹はゆっくりかさぶたになり、発疹の赤色は茶色っぽく変化していきます。そしてかさぶたは乾燥して取れていきます。かさぶたが取れるまで、だいたい数週間かかります。



厄介なのは、**発疹が消えた後も続く神経痛です。「带状疱疹後神経痛」**といいます。発疹が落ち着いてくるとともに痛みもなくなる人もいますが、発疹がなくなっても数週間から、長ければ数年も痛みが続く場合があります。発疹が治っても神経の損傷が残った状態のため、痛みが続くのです。高齢の人ほど神経痛が残りやすい傾向にあります。

带状疱疹は通常、左右どちらかの片側に症状が出ます。全身どこにでも出ますが、体や顔に出ることが多く、半数以上が上半身に出ます。目の周りに出た場合は結膜炎や角膜炎を合併することもあるため、眼科を受診するようにしましょう。

## 带状疱疹の原因は何ですか？

原因は水痘・带状疱疹ウイルスです。このウイルスに初めて感染すると、水ぼうそうになります。多くの人は子どもの頃に水ぼうそうにかかります。水ぼうそうの後、何も症状はありませんが、ウイルスは体の中の神経節にひそんでいて、完全に消えることはありません。

高齢になって体が疲れていたり、何か負担になることがあったりした際に、ひそんでいたウイルスが再活性化して带状疱疹になるのです。

## 带状疱疹になりやすいのは、どんな人ですか？

带状疱疹は年を取るとなりやすく、**疲れたときや無理をした際になりやすい病気**です。50～70代に多く見られますが、若い人でもかかる場合があります。抗がん剤や免疫を調整する薬を使用している人、新型コロナワクチンを接種した人が発症することもあります。

「带状疱疹は夏に多い」というイメージを持つ人が多いのですが、年間を通してかかる病気です。

(次号 後編へ続く)



### 井上病院 皮膚科診療

---

当院外来診療時間と同じく午前・午後と診療をしておりますが、休診日が不定期にありますのでご注意ください。

当院では例えば、いぼ・できもの・かゆみ・乾燥が気になる場合、発赤や湿疹などが生じている場合、床ずれでお悩みの場合、皮膚の何らかの症状が市販薬で効かないとお悩みの場合、病気や薬の影響で皮膚の状態が悪化した場合など…様々な症状やお困りごとで受診していただいています。

MR I 検査や形成外科的な対応が必要な場合、または内臓からの病気が疑われた際には、適切な医療機関に紹介することもあります。

皮膚科では、実際にみて診断・治療をすることが重要となります。

**お困りの際は、お早めにお気軽に皮膚科でご相談ください！**

